

横浜市中心卸売市場魚食普及推進協議会が 「魚の国のしあわせ大賞」で優秀賞を受賞しました



このたび、水産庁が事務局を務める「魚の国のしあわせ」推進会議が実施する「魚の国のしあわせ大賞」において、115の実証事業の中から横浜市中心卸売市場魚食普及推進協議会が「2019年度魚の国のしあわせ大賞 優秀賞」を受賞しました。

今回の受賞は2018年度の奨励賞に続き2年連続となりました。

受賞理由は、市内小学校と連携し、『未利用魚の独自給食』と『未利用魚に関する出前授業』を合わせて行った取組が、「独創的な取組で、児童に身近な給食を通して、漁業の現状や水産資源の活用などについて、学びの機会を創出した」と評価されたものです。

※未利用魚とは、魚体のサイズや漁獲量などの関係で流通に回らない水産物を表します。

※独自給食とは、学校単位で独自に献立を作成し実施する給食です。なお、2019年度は36の市内小学校でコイワシのカレー揚げやコサバの味噌あんかけなどのメニューを約2万5千食配食しました。

【「魚の国のしあわせ大賞」とは】

水産庁が事務局となり生産者、水産関係者、加工・流通業者、消費者の代表で構成される「魚の国のしあわせ」推進会議で、食育や外食メニュー開発、水産イベントなど水産物の消費拡大に資するあらゆる取組を対象として、事前登録された115の実証事業から、特に成果の顕著な団体に最優秀賞、優秀賞、奨励賞、努力賞を授与し、功績を称えるものです。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/sakanakuni.html>

<表彰状>



横浜市中心卸売市場魚食普及推進協議会
会長 芦澤豊氏
(横浜丸魚株式会社 代表取締役社長)

<未利用魚に関する授業の様子>



横浜丸魚株式会社
経営企画室長 草間一昭氏

裏面あり

<横浜市中央卸売市場魚食普及推進協議会>

水産物部の卸売事業者2社、仲卸事業者の組合、関連事業者の組合、横浜市で構成する団体で、魚食の普及・拡大及び消費促進を目的として活動しています。

<横浜市中央卸売市場魚食普及推進協議会の主な活動内容>

○料理教室

人気の親子料理教室やお寿司教室、おせちやひなまつりなど季節に応じた料理教室などを月に1回程度開催しています。

○出前授業

市内小学校や食に関する事業者等を対象に、市場の役割や魚の美味しさを伝える授業を実施しています。

○市場一般開放

毎月第一・第三土曜日の午前9時から11時まで水産物部を一般開放し、一般の方々との交流のための各種イベントを開催しています。仲卸店舗で新鮮な食材が購入できるほか、市場探検隊やマグロ解体ショーなど、人気のイベントを実施しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度大部分の活動は中止しています。



<料理教室>



<出前授業>



<市場一般開放でのマグロ解体ショー>

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

お問合せ先

経済局中央卸売市場本場経営支援課長 藤咲 貴裕 Tel 045-459-3331